

# 事業報告

令和2年度 一般社団法人さいたまスポーツコミッション事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

## 1 設立目的及び概況

### (1) 設立目的

さいたま市及び周辺地域にあるスポーツ資源や特徴ある観光資源を最大限活用し、各種競技大会等スポーツ関連イベントの積極的な誘致等の事業を通じて、地域のスポーツ機会を創出することにより、地域スポーツの振興と地域経済の活性化を図ることを目的とする。

### (2) 概況

① 設立年月日 平成30年12月10日

② 基金 1億450万円

#### ③ 実施事業

ア スポーツイベント等の誘致に関する事業

イ スポーツイベント等の運営支援に関する事業

ウ スポーツイベント等の実施に関する事業

エ スポーツ施設等の管理運営に関する事業

オ スポーツビジネスの創出に関する事業

カ 前各号の事業のほか、当法人の目的を達成するために必要な事業

## 2 役員等の状況

### (1) 役員等の人数（令和3年3月31日現在）

会長 1人

副会長（※） 1人

常務理事 1人

理事 2人

監事 1人

※ 専務理事を兼任

### (2) 令和3年3月31日現在の理事・監事

役職	氏名	就任年月日
会長（代表理事）	池田 純	令和2年6月23日
副会長（兼専務理事）	遠藤 秀一	令和2年6月23日
常務理事	本田 秋満	令和2年6月23日
理事	北 清治	令和2年6月23日
理事	川村 恵一郎	令和2年6月23日
監事	河合 あゆみ	平成30年12月10日

### 3 理事会及び総会の開催

#### (1) 理事会

開催日時	議決事項等
令和2年5月21日 (第1回理事会)	議案第1号 令和元年度事業報告について 議案第2号 令和元年度決算報告について 議案第3号 規程の制定について 議案第4号 正会員及び賛助会員の入会について 議案第5号 令和2年度定時社員総会の開催について
令和2年6月15日 (理事会決議事項の提案)	議案第6号 財産の出資について
令和2年6月23日 (臨時理事会)	議案第7号 役員の専任について
令和2年7月30日 (理事会決議事項の提案)	議案第8号 契約の締結について
令和2年10月5日 (第2回理事会)	報告事項 職務執行状況の報告について
令和2年12月8日 (第3回理事会)	報告事項 職務執行状況の報告について
令和3年3月23日 (第4回理事会)	報告事項 職務執行状況の報告について 議案第9号 令和3年度事業計画について 議案第10号 令和3年度収支予算について 議案第11号 規程の制定について

#### (2) 社員総会

開催日時	議決事項等
令和2年6月23日 (第1回総会)	報告事項 令和元年度事業報告について 議案第1号 令和元年度決算報告について 議案第2号 理事の選任について

### 4 職員の状況

令和3年3月31日現在の職員

- ① プロパー職員 1人
- ② 契約職員 3人
- ③ 市派遣職員 7人
- ④ さいたま観光国際協会派遣職員 3人
- ⑤ 企業出向職員 1人
- ⑥ 臨時職員 2人

## 5 事業の実施状況等

### 1 スポーツイベント誘致・支援事業

#### (1) スポーツイベント誘致活動

各種スポーツ競技団体等に対して誘致セールスを行った。

<令和3年度開催予定大会数> 32大会 ※令和3年3月31日現在

#### (2) スポーツイベント支援活動

スポーツイベント開催助成金制度による財政支援、広報・PR、各種資料・情報提供、飲食物販売所の設置、行政機関への調整等、主催者の要望に応じた各種運営支援を実施した。

<令和2年度支援大会数> 24大会 ※誘致した48大会のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により24件中止

#### (3) スポーツ合宿誘致活動

多言語ホームページによるトレーニングキャンプ実施可能施設の情報発信並びに「さいたまスポーツシユレ」との連携により、トレーニングキャンプ及びスポーツ合宿のセールス活動を展開した。

#### (4) プロモーション活動

スポーツイベントの誘致、スポーツツーリズムの促進並びに関係団体との交流拡大等を図るため、プロモーション活動を展開した。

スポルテック2020 第7回スポーツイベントサービスEXPO

期 間：令和2年12月2日（水）～4日（金）

会 場：東京ビックサイト 青海展示棟A・Bホール

主 催：スポルテック実行委員会

内 容：国内スポーツイベントの情報収集及びSフィールドPR

#### (5) 経済波及効果調査活動

スポーツイベント開催助成金を支出したイベントを中心に消費額アンケート調査による個別基礎調査を実施するとともに、大学機関と連携してスポーツイベントにおける経済効果額を推計した。

<令和元年度経済効果推計額（平成31年4月～令和2年3月）> 約51.5億円

#### (6) 情報収集活動

##### ①一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）との連携

スポーツツーリズムを推進する役割を担った全国的なネットワークを構築する同機構と連携を図りながら、各種スポーツイベント情報を収集した。

##### ②日本スポーツマネジメント学会（JASM）との連携

スポーツマネジメント研究を行う同学会員と連携を図りながら、スポーツ業界関係者との情報交換を行った。

##### ③プライドリームス埼玉運営（PDS）との連携

埼玉県内トップスポーツチームとの交流及び連携を図るため、同団体の運営補助等を行った。

### 2 スポーツイベント開催助成事業

スポーツイベントの誘致及び開催の推進を図るため、スポーツイベント開催助成金交付制度を活用し、7件（総額5,695,333円）を助成した。

### 3 ウォーキングイベント開催事業

新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、大会を中止した。

#### 4 スポーツ施設運営事業

大宮けんぼグラウンドSフィールド（野球場8面・テニスコート10面）の管理運営及びイベント利用のセールス活動（視察受入等）を行った。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4月8日から6月5日までの間、利用を休止した。

<貸出実績>

野球場1,727件（69,080人）／テニスコート3,033件（30,330人）／合計4,760件（99,410人）

#### 5 さいたまクリテリウム開催事業

新型コロナウイルス感染症の拡大により、「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」の開催を見送り、代替事業として、次のとおり事業を実施した。

##### (1) ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム toward 2021 ONLINE RIDE チャレンジ

期 日：2021年1月9日（土）～1月17日（日）

内 容：スマートフォンのアプリを利用して、参加者がそれぞれの時間・コースでサイクリングを行い、累計走行距離100kmを目指すオンラインイベント

主 催：一般社団法人さいたまスポーツコミッション

共 催：さいたま市

特別協賛：株式会社クリーン工房

協賛企業：さいたまスポーツコミッション正会員10社

参加者数：341人

##### (2) オフィシャルグッズ販売

販売開始：令和2年9月8日（火）～

販売品目：クール立体マスク、抗菌マスクケース、Tシャツ、ショルダーサコッシュ、トレーナー等15品目

#### 6 スポーツシユール事業

##### (1) 女子サッカー等活性化受託事業

さいたま市から委託を受け、競技人口が極端に減る中学生年代の女子サッカーを支援するため、サッカーを行う女子中学生の活動の場所等を確保するとともに、競技技術の向上、栄養管理等を図る取組である「スマイルプロジェクト」等を行った。

<実績>

実施回数：10回（うち2回はオンライン開催）

参加人数：延べ83人、オンライン練習会視聴回数：のべ277回

##### (2) スポーツを科学する生徒の育成事業

さいたま市教育委員会から委託を受け、学校の部活動での生徒の行動特性を把握し、競技力や課題の分析・解決力を高めるための指導について、ICTを活用して実証実験を行った。

<実績>

実施校：浦和南高校、内谷中学校のサッカー部、バスケットボール部、ハンドボール部

(3) Sport in Life 推進プロジェクト「親子向けアーバンスポーツ体験パーク」

スポーツ庁から委託を受け、スポーツ実施を阻害する課題解決のための実証実験として、アーバンスポーツを活用したスポーツ実施率向上のための実証実験として、美園地区において親子向けアーバンスポーツ体験パークの設置と体験教室を行った。

期 日：令和2年10月11日（日）～12月20日（日）

開催場所：美園駅北陸橋高架下、美園三丁目第2公園、大門上池調節池広場

内 容：レンタルパーク事業（キックバイク、BMX、インラインスケート、スケートボード、3x3等）  
体験教室事業（フリースタイルバスケットボール、インラインスケート、フリースタイルフットボール、スケートボード、BMX、3x3等）

代表団体：一般社団法人さいたまスポーツコミッション

構成団体：さいたま市、一般社団法人CHIMERA Union

協力団体：さいたまブロンコス

参加者数：1,566人

## 7 その他

(1) さいたまシティ ONLINE マラソン～走ってチャリティ・みんなで健康に～

期 日：令和3年1月16日（土）～1月29日（金）

内 容：スマートフォンのアプリを利用して、参加者がそれぞれ自由な時間と場所で、フルマラソンタイムアタック、開催期間中の累計走行距離で競うオンラインイベント。参加料や記念チャリティTシャツ等の売上の一部を日本赤十字社埼玉県支部、公益財団法人日本財団、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会に寄付した。

主 催：一般社団法人さいたまスポーツコミッション、さいたま市

後 援：さいたま市教育委員会

特別協賛：株式会社埼玉りそな銀行

協賛企業：住友生命保険相互会社、株式会社フタバスポーツ、株式会社資生堂、かのうや

協 力：株式会社埼玉新聞社、株式会社埼玉スポーツ

参加者数：1,179人

## 6 事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告を補則する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。